

どうなる日本？

～冬と夏の異常気象～

日時

令和8年1月18日(日)

入場
無料

開会 9時30分 講演 10時00分

9時30分から小・中・高校生による作文等発表や上滝十二神楽の出演があります。
生涯学習活動や地域づくり活動の展示紹介もありますので、是非ご来場ください。

場所

丸森まちづくりセンター

異常気象の未来予測

～40度の夏は人災・二季へ向かう日本～

講師

三重大学大学院生物資源学研究科

教授 立花 義裕氏

2025年の「新語・流行語大賞」のベスト30に「二季」が入りました。地球温暖化で、四季の移ろいが崩れ、長い夏と冬のみの国になりつつあります。2025年7月に上梓した『異常気象の未来予測』（ポプラ社）で、「日本は二季化しつつある」と書きました。2025年は、その未来予測がすでに現実となっていました。近年の異常気象は、日本が世界で一番といってもいいくらいです。温暖化が日本を狙う！異常気象の解説者としてテレビでお馴染みの立花義裕が、むずかしいことをやさしく、ふかく、おもしろく、まじめに、ゆかいに解説します。

酷暑が“当たり前”になった理由

～高温化する海と新型高気圧～

講師

三重大学大学院生物資源学研究科

修士 天野 未空氏

近年、東北地方で冷夏がなくなり、「災害級の暑さ」が“当たり前”になりつつあります。特に2025年には平年を大幅に上回る酷暑を記録しました。この「災害級の暑さ」は、なぜ発生するのか？猛烈な暑さの背後にある、「高温化する海」と「新型高気圧」という二大原因を、最新の研究から分かりやすく解説します。

丸森町出身

講演会への参加には入場整理券が必要となります。

※入場整理券は1月5日(月)より各まちづくりセンターで配布します。